

## 熊本かがやきの森支援学校開校



開校式・入学式が4月10日（木）に行われ、御来賓や保護者の方々と一緒に開校と児童生徒の入学を祝いました。

「開校宣言」、「校旗披露」、「校歌披露」の後、入学式があり新入生が「一人一人かがやく学校生活を送りたいと思います」と誓いました。

「かがやく笑顔」「学ぶ感動」「つながる喜び」「明日への生きがい」という校訓のもと、児童生徒一人一人がかがやくことができるよう、安全安心な学校生活、個を伸ばす教育を行っていきます。

熊本かがやきの森支援学校は、県内唯一の重度・重複障がいのある児童生徒が通う特別支援学校です。現在、新校舎が熊本市横手に建築中のため熊本支援学校内で開校して学習をしていますが、竣工後に新校舎に移る予定です。

## 松橋支援学校高等部氷川分教室・菊池支援学校高等部山鹿分教室開室！

平成26年4月9日（水）に、知的障がいのある高等部生徒を対象とする2つの分教室を新たに開室しました。

松橋支援学校高等部氷川分教室は、八代市の氷川高等学校閉校後の跡地を活用して開室しました。今年度は、9名の生徒が入学しました。

菊池支援学校山鹿分教室は、鹿本商工高等学校内の教室を活用して開室しました。山鹿地区では初めての特別支援学校に6名が入学しました。

2つの分教室とも、将来の社会参加や社会自立を目指して、働く学習の他、一人一人に応じた教科学習や社会生活に必要な学習を行っています。また、本校や地域との交流及び共同学習の他、山鹿分教室においては鹿本商工高校生との日常的な交流など共生社会の実現に向けた取組を進めています。

※教育相談も受け付けています。まずは本校にお気軽にご相談ください。  
連絡先：松橋支援学校（0964-32-0729） 菊池支援学校（096-242-0069）



校名板設置の様子（氷川）



入学式後の分教室での様子（山鹿）

## つなげよう！個別の教育支援計画

新しい学校生活が始まって1か月。子どもたちも少しずつ新しい環境に慣れ、先生方も子どもたちの様子が見えてきた頃でしょうか。

この時期に、障がいのある子どもたちの「個別の教育支援計画、個別の指導計画」を作成し、しっかりと支援の充実を図りたいものです。平成26年3月31日付け教特第559号で通知のとおり、本県では、両計画とも、小中学校の通常の学級、高等学校を含め、障がいのあるすべての子どもたちに対して作成し、その計画を基にした支援の引継ぎを着実に進めることとしています。

「個別の教育支援計画（以下、「支援計画」という。）」は、障がいの状態や本人・保護者のニーズ、必要な支援内容、関係機関等がどのような支援をするかなどを記した計画であり、支援に関わる者が共有するための計画でもあります。また「個別の指導計画」は、「支援計画」を基に、学校における学習や生活上の支援を具体的に記す計画です。

支援計画の活用にあたっては、子どもたちの成長の様子から支援が適切であったかを評価し、その評価を基に計画を見直しながら支援の一層の充実を図ることが重要であり、進級や進学時には、蓄積された支援を引き継ぐことで一貫した支援が可能になります。子どもたちへの支援の一層の充実と一貫した支援のために、支援計画等の作成・引継ぎを進めましょう。

